

あれから
一年。

震災復興へのあゆみ

震災を経て

未だに時折余震もあり、まだ安心というには尚早かとは思いますが。あれから一年が過ぎ、節目を迎えることである時のキオクが鮮明に蘇ってくるという方も多いのではないのでしょうか。

人的被害はもちろんのこと、建物、景観、道路などのインフラ、沢山の損失をもたらした震災でしたが、各地で自然発生的におこった「がんばろう」「支援」「絆」など様々な復興支援活動を中心に、心に訴えかける契機をもたらした出来事でもありません。

これから必要なのは？

約一年という月日が流れ、生活自体には落ち着きが出てきたものの、まだまだその爪あとは残ります。国や自治体でも次々に次年度予算が編成され、様々な復

興支援策が実行されることでしよう。

ただ本当に、被災者の方々が必要としていることは何だろうか？と私は考えています。仕事を失ってしまった方の雇用、未だ仮設住宅で暮らす方々の生活物資、親族を亡くされた方への心のケア。数えだしたらキリがありません。また私たち民間人一人ひとりにできることは何なのか？という疑問も尽きません。

これから必要なもの。その私なりの答えは、「この国に住む、できるだけ多くの人々が、明るく元気に健康に暮らす」という極めて単純なものでした。

イベントを企画

本来、このニュースレターはスタッフ全員の手作り（毎月執筆、編集者を順番に行っています）で、会社としての広告宣伝や会社の方針、方向性をテーマに沿って取引先や関係者の皆様にお送りしているものです。

しかし今月は会社から少しはなれてのメッセージになっってしまうかもしれません。

私は水戸商工会議所青年部に所属し、特に今年度は広報渉外委員会の委員長という重責を担い、昨日に行われるイベントを委員会のメンバーを中心に昨年夏前から企画し

様々な話し合いを経て、いよいよ開催が近づいてまいりました。（詳細は下段）

イベントなんて一過性、その時だけで復興支援なんかにならない・なんていう批判の声があったのも事実です。私自身も少しだけ、そういう思いもありました。

しかし、開催を間近に控え、た今はこの企画を進めてきて良かった。と心から思っています（当日が成功するかどうかは心配ですが・笑）

茨城空港就航地として、北海道紋別から「カニの甲羅盛」神戸から「神戸プリン」北関東道経路の前橋から「うTON飯」宇都宮から「きたかん餃子」。そして県内各地より民間企業、団体、ボランティアグループなど14のブースが出店します。

大変お忙しい中、いばらき観光大使の磯山さやかさんをはじめ多数のゲストもステージを盛り上げてくれる予定です。

復興支援や地域活性化なんてカタイ言葉は抜きにして。ひとりでも多くの笑顔を見たい。元気になってもらいたい。楽しんでもらいたい。そう思います。

皆様、ぜひご来場ください。心よりお待ちしております。

（代表取締役 桐原勝律）

茨城空港開港2周年・北関東自動車道完全開通1周年・地域交流促進事業 東日本大震災復興支援祈念事業

茨城とつながる
全国各地から
おいしいもの大集合!

「食」でつながる 空×道×心

3/11 SUN
10:00-16:00
水戸市南町自由広場



あの水戸納豆ケバブが
南町自由広場に
帰ってくる!



13:00頃 大人気!
茨城のヒロイン
磯山さやかさん登場!

